



防災対策情報便

尼崎市災害対策課
令和7年度 vol.4

01 感震ブレーカーを設置しましょう！

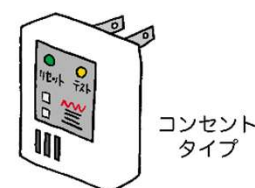
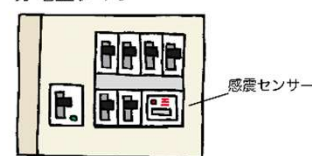
皆さん、「感震ブレーカー」をご存じですか？

大きな地震による揺れを感知した場合、自動的に電気を遮断し、転倒した電熱器具への再通電による火災を防ぐ優れものです。

震災時の出火原因の過半数を占める電気火災を留守中や避難時でも未然に防止してくれます。

阪神・淡路大震災、能登半島地震などにおいて、地震の後に大規模な火災が発生し、多くの被害をもたらしました。

分電盤タイプ



震災時の電気火災が発生する代表的なパターン

- ①電気ストーブなど電熱器具を使用中に地震が発生する。
- ②使用中の電熱器具がスイッチが入ったまま転倒するが停電となり、電熱器具は停止する。
- ③住人は避難し、家の中は無人となる。
- ④電気が復旧し、スイッチが入ったままの転倒した電熱器具に再通電し、出火する。

防火講演会

令和8年(2026年)2月25日(水)に消防局で開催された「防火講演会」では関西電気保安協会の甲斐氏により、感震ブレーカーの重要性についての講義がありました。

感震ブレーカーはいくつか種類があり、ご自宅の電源ブレーカーによって設置できるタイプが異なります。

地震の揺れだけでなく、家具の転倒などで傷ついた電源コードのショートも感知できる数万円の電気工事を必要とするタイプのものや、簡単にブレーカーのスイッチにはめ込み、地震の揺れでおもりが落ちて電気を遮断する数千円の簡易タイプもあります。

大規模地震の発生が危惧される昨今、今こそご自宅の電源ブレーカーをご確認いただき、感震ブレーカーの設置をご検討されてはいかがでしょうか。



関西電気保安協会 甲斐氏



感電体験キット
乾燥時と湿潤時の感電の強さの違いを段階的に体験でき、子供に人気とのこと。



感震ブレーカーモデルキット
ブレーカーや、感震ブレーカーのはたらきを点灯するライトやスイッチの操作で理解できる仕組み。

02 外国人防災の取組

尼崎市では外国人の方に防災情報を分かりやすく伝えるために、「多言語版ハザードマップ」と「やさしいにほんごぼうさいガイド」を作成、誘導板への「QR Translator」の導入をしました。さらに、「ひょうご防災ネット」では、災害時の緊急気象情報や避難情報を配信しているほか、外国の方向けに気象警報や各市町が発信する緊急情報等を12言語に自動翻訳してホームページ上で公開する「ひょうごEネット (Hyogo Emergency Net)」も運用しています。

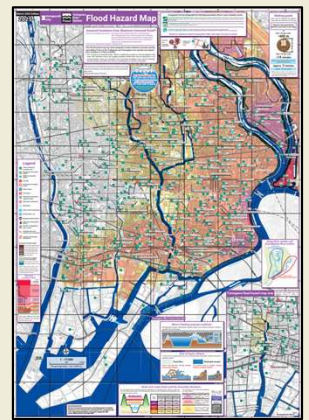
多言語版ハザードマップ

ハザードマップについて、

- ・ 英語
- ・ 中国語 (簡体字)
- ・ 韓国語
- ・ ベトナム語
- ・ ネパール語

外国人のための
防災情報▼

の5言語による多言語版を作成しました。



やさしいにほんごぼうさいガイド

災害が発生した際の行動について、外国人の方にも分かりやすい「やさしい日本語」による防災ガイドも作成しました。

「やさしい日本語」とは？

文法・言葉のレベルや文章の長さに配慮し、分かりやすくした日本語です。

阪神・淡路大震災の際、地震発生時の緊急速報や避難指示を理解できずに、多くの外国人が被災しました。

それにより、外国人に災害時における情報伝達を迅速に行う手段としてこの取組が始まり、全国へと広まっています。



誘導板での「二次元コード」の活用

近隣の避難場所等の情報を案内するために電柱に設置している誘導板ですが、長年の風雨や日光の影響により表示の劣化が進んでいることから、順次更新をしています。

新しい誘導板は、二次元コードを利用すると、外国人の方が母国語で付近の指定避難場所の詳細情報や避難経路等に関する情報を見ることができます。

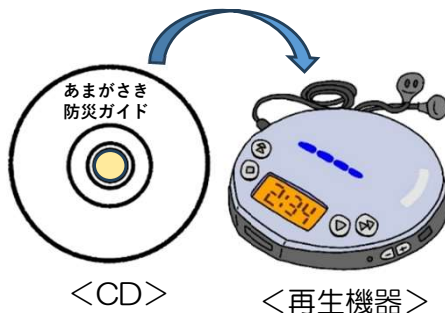
誘導板は、令和7年度末時点で421枚を更新し、令和8年度はさらに605枚の更新を予定しています。



03 音声版・点字版防災ガイド

ハザードマップをもとに、目の不自由な方にもご利用いただけるよう、点字版および音声版防災ガイドを作成しました。「あまがさき防災ガイド」の他、各種避難場所の情報などを、点字や音声で確認できる内容となっています。災害時に落ち着いて行動できるよう、日頃からの備えとしてぜひご利用ください。

音声版防災ガイド



点字版防災ガイド



04 イベント報告

「1.17は忘れない」地域防災訓練を実施しました!

令和8年(2026年)1月16日(金)にメイン会場の大成中学校をはじめとする市内6地区で実施しました。

この訓練は阪神・淡路大震災の教訓を次世代に伝えていくため、毎年1月17日を中心とする日に実施しています。

当日は、地震発生を告げる訓練放送を合図に訓練を開始。生徒たちは教室机でのシェイクアウトから落ち着いており、真剣な表情でグラウンドへ迅速に避難を行いました。

避難訓練や消防訓練に熱心に取り組む生徒の姿は、まさしく次世代の防災リーダーにふさわしいものでした。

また、多くの地域住民の皆様にも避難所開設や避難所運営に関する体験や訓練にご参加いただき、地域の顔の見える関係のさらなる強化と地域防災力の向上に繋げることができました。



避難所受付に2次元コードを活用



消防による応急担架の実演

消防出初式&あまがさき FIRE QUEST



令和8年(2026年)1月10日(土)、「市制110周年記念事業令和8年尼崎市消防出初式」及び「あまがさき FIRE QUEST～学んで遊ぶ、ヒーロー体験～」が開催されました。

当課も防災センターでの展示ブースに出展し、「学んで遊ぶ」をコンセプトに、特に若い世代の皆様に関心を持っていただけるよう、非常用持ち出し袋の重さ体験や防災パズルを実施しました。

「逃げ遅れゼロ」へ! マイ・タイムライン作成講座



令和8年(2026年)2月7日(土)に国土交通省猪名川河川事務所と尼崎市の共同主催で「マイ・タイムライン作成講座」を開催しました。

気象キャスターの澤麻美さんによるお天気講座から始まり、水害時の「逃げ遅れゼロ」を目指して親子連れなど30名の市民がそれぞれのマイタイムラインを作成しました。

市民の皆様一人ひとりが命を守る行動(自助)を準備することの重要性をお伝えしました。

立花北小学校こどもクラブ「防災チャレンジ」

今年度、立花北小学校こどもクラブで全12回の「防災チャレンジ」を実施しました。クイズや実技など、子どもたちが最後まで飽きずに体験しながら学べる工夫を凝らした講座です。

令和8年(2026年)2月26日(木)の最終回は約30人の児童が、これまでの体験を生かし、自分たちで考えた行動計画を指導員と一緒に確認しました。



防災リーダー研修会

令和8年(2026年)3月15日(日)に、「ペットと共に安心して避難ができる避難所づくり」をテーマに「防災リーダー研修会」を実施しました。「防災リーダー研修会」は、尼崎市在住・在勤・在学のひょうご防災リーダーを対象に年1回開催しています。

今年度は、一般社団法人わんにゃん防災の荻野直美氏を講師に招き、被災地のペットの現状と飼い主の備えについてお話しいただきました。



05 お知らせ

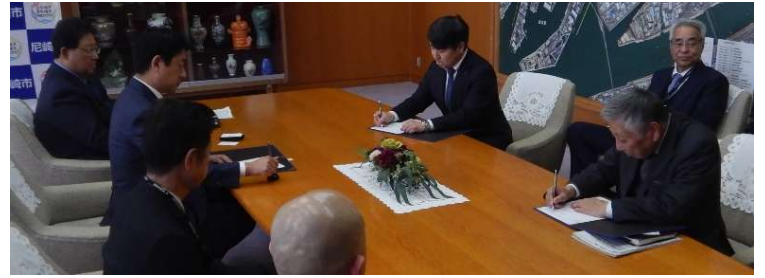
災害時における電動車両等の支援に関する協定を締結

令和8年(2026年)2月5日(木)に、災害または停電発生時において、市民への電源供給手段を確保するため、また、災害対応に必要な物資等の輸送を円滑に行うため、兵庫三菱自動車販売株式会社及び三菱自動車工業株式会社と、災害時における電動車両等の支援に関する協定を締結しました。



本協定は、災害発生時に、兵庫三菱自動車販売株式会社及び三菱自動車工業株式会社が保有する電動車両等を尼崎市に提供いただき、避難所や公共施設における電源供給や移動手段の確保に活用するものです。

また、本市では、平常時から公用車として三菱自動車の車両を導入しており、こうした日頃からの関係を基盤として、災害時においても迅速かつ円滑な連携が可能となるものです。



津波等一時避難場所の新規指定

新たに津波等一時避難場所を指定しました。

今回の新規指定により津波等一時避難場所は、総計371施設、収容人数393,370人となります。



指定施設：ALFALINK 尼崎South(尼崎市道意町7-6)
収容人数：約22,570人
避難場所：6階屋上駐車場
指定日：令和8年(2026年)2月27日(金)

地図情報あまがさきの更新

新たなハザードマップを地理情報システム「地図情報あまがさき」で公開しました。

これにより、複数の地図データを重ね合わせ、都市計画図や道路・水路情報に加え、洪水・高潮・内水・津波などのハザードマップの閲覧が可能となります。

地図情報あまがさき ▶

今後のあまがさき防災対策情報便の発行について

いつも「あまがさき防災対策情報便」をご覧ください、ありがとうございます。
このたび、環境への配慮やペーパーレス化の推進のため、紙媒体での発行を終了することとなりました。今後につきましては、市公式ホームページやSNSなどで、防災に関する情報をお届けしていきます。

これからも、いざというときに役立つ情報をわかりやすくお伝えしていきますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

